

令和 7 年度 第 9 回 湯梨浜町農業委員会定例総会議事録

開 催 年 月 日	令和 7 年 1 2 月 1 0 日（水）午後 3 時 0 0 分			
開 催 場 所	湯梨浜町役場別館 第 3 会議室			
出席委員（ 12 名）	1 番 土海 政信 委員	2 番 下田 健一 委員	3 番 尾川 寛信 委員	4 番 山田 隆雄 委員
	5 番 長谷川 誠一 委員	6 番 山下 和子 委員	7 番 渡邊 由佳 委員	8 番 清水 武敏 委員
	9 番 横川 力 委員	1 0 番 中村 弘明 委員	1 1 番 蔵本 孝広 委員	1 2 番 山上 真治 委員
欠席委員（ 0 名）				
出席推進委員（ 8 名）	1 3 番 赤井 保 推進委員	1 4 番 河井 勝重 推進委員	1 5 番 松本 勝男 推進委員	1 6 番 山本 正義 推進委員
	1 7 番 伊藤 文夫 推進委員	1 8 番 岡本 章 推進委員	1 9 番 音田 孝好 推進委員	2 0 番 倉本 哲男 推進委員
欠席推進委員（ 0 名）				
職 務 の た め 出 席 し た 職 員	事務局長 吉野 和男 副主幹 中村 武史			
提 案 議 案	第 31 号議案 農地法第 3 条の規定による許可申請について 第 32 号議案 農地法第 5 条の規定による許可申請について 第 33 号議案 非農地の現況証明について 第 34 号議案 農用地利用集積等促進計画の策定について 第 35 号議案 非農地の決定について 第 36 号議案 令和 8 年農業労働賃金等標準額の決定について			
報 告 事 項	第 1 号 水田の畑地変換届について			

日 程	発 言 者	発 言 の 要 旨
1 開会	事務局	<p>それでは定刻となりましたので、ただ今から令和 7 年度第 9 回農業委員会定例総会を開会します。</p> <p>はじめに、農業委員会憲章の唱和を行いますので、皆様ご起立をお願いします。</p> <p>本日の先導役は、議席番号 11 番の蔵本孝広委員です。よろしくお願いします。</p> <p>(農業委員会憲章の唱和)</p> <p>ありがとうございます。ご着席ください。</p> <p>それでは開会にあたりまして、長谷川会長からごあいさつをいただきます。</p> <p>(長谷川会長あいさつ 中略)</p> <p>ありがとうございました。それでは、本日の出席者報告をします。</p> <p>農業委員の現員数 12 人に対し、ただ今の出席委員は 12 人、全員出席であります。農業委員会等に関する法律第 27 条第 3 項の規定に基づき、出席者が定足数に達しておりますので本総会が成立することを報告します。</p> <p>次に会議の議長ですが、湯梨浜町農業委員会会議規則第 4 条第 1 項の規定により、会長が議長となります。それでは、長谷川会長より進行をお願いします。</p>
農業委員会憲章 唱和	蔵本委員 事務局	
	長谷川会長 事務局	
2 議事録署名委員の指名	長谷川会長（議長）	<p>本日の会議の日程は、お手元に配布のとおりでございます。ご確認願います。それでは進行させていただきます。</p> <p>日程 2.「議事録署名委員の指名について」を議題と致します。このことについてお諮りを致します。本案件につきましては、湯梨浜町農業委員会会議規則第 23 条第 2 項の規定により、議長において指名することにご異議はございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認めさせていただきます。それでは議事録署名委員には、議席番号 4 番の山田隆雄委員、議席番号 6 番の山下和子委員、両名を指名させていただきますのでよろしくお願い致します。なお、会議書記におきましては、事務局をお願いを致します。</p>
3 報告事項 第 1 号 水田の畑地変換届について	(議長) 事務局	<p>それでは、日程 3.報告事項に入ります。</p> <p>報告事項第 1 号「水田の畑地変換届について」、事務局より説明してください。</p> <p>会議書 2 頁です。報告事項第 1 号「水田の畑地変換届について」を説明します。</p>

		<p>です。特定建築条件付売買予定地の説明は、この頁の下に記載していますので、ご確認ください。</p> <p>譲受人は、東京都の株式会社●●。譲渡人は、記載の３名であり、所有地については、●●と●●が各１筆、●●が３筆です。契約内容は、売買による所有権移転。立地基準の判定に係る農地区分は、第３種農地。その区分決定根拠は、管理設道路沿道の区域内にある農地と判断できるためです。許可根拠規定は、第３種農地の転用は原則許可のため、記載はしていません。なお、この立地基準の判定については、事前に許可権者である県とも協議済です。都市計画区分は、非線引きの都市計画区域内で、公共投資、有です。</p> <p>事業内容です。特定建築条件付売買予定地 24 区画の造成。表土すきとりは 30 cm。盛土造成は、場所にもよりますが、77 cmから 91 cmの計画です。造成地内に、新たに幅 6m、延長 93.5mの道路を設置します。その他、造成地内東側に水路、北側には、ごみ置き場と消火施設を新設します。また、造成地南側隣接地に既存水路がありますが、転用事業者において、水路の付替えを実施します。農業振興地域整備計画において農用地からは除外済み。土地改良区の意見書が添付されています。申請地の北西側隣接地に農地が１筆存在します。台帳地目は田、現況課税地目は宅地であり、この所有者の同意書が添付されています。</p> <p>頁をめくって頂き、4-1 頁が航空写真の位置図です。左側に赤色で囲っている 5 筆です。</p> <p>次の 4-2 頁が現地の写真です。5 筆全体の写真です。上の写真は、申請地を南東側角から、下の写真は、申請地を北東側角から撮影しています。</p> <p>次の 4-3 頁をお願いします。農地区分の決定根拠の説明資料です。農地区分は、第３種農地と判断し、その区分決定根拠は、上水道と下水道の２つが埋設されている町道の沿道にあり、申請地から 500m以内に、２つの公共施設がある農地であることから、「管理設道路沿道の区域」になるためです。申請地周辺の上下水道本管の配管状況は、上水道は青線で、下水道は赤線で示していますのでご確認ください。いずれも町道に埋設されているものです。</p> <p>また、申請地の周囲隣接地は、北側と東側は町道に隣接、西側は住宅地、南側は水路及び町道に隣接しています。申請地東側の隣接町道を挟んで、水田 3 筆、実態は 1 枚の水田及び畑が 1 筆あります。この農地については、それぞれの地権者において、水稻栽培、畑では果樹栽培が行われています。緑色線で囲み、田及び畑と示しています。申請地西側隣接の住宅地及び町道を挟み、西側一帯は水田地帯が広がっています。こちらも緑色線で囲み、田と示しています。</p> <p>また、申請地北側隣接の町道及び川を挟んだ向かい側、北側に、既存の緑地公園があります。</p>
--	--	--

		<p>公園と示しているところです。</p> <p>次の 4-4 頁が公図です。縦に見ていただきますが、申請地 5 筆を黄色で示しています。道路は茶色、水路は青色で示しています。申請地 5 筆のうち、西側——番の農地の西側は、住宅地であります。宅地と表記されています。ただし、北側の——番の土地は、台帳地目が田であるため、この所有者の同意書を添付していただいております。ただし、現況は、地上げがされており、宅地課税がなされている土地です。</p> <p>次の 4-5 頁をお願いします。土地利用計画図です。小さくて見えにくいので、皆さんは、別紙の A3 版にてご覧ください。申請地内は色塗りがされています。凡例が左側に記載されています。住宅用地は、24 区画。申請地内に新設する道路は、道路側溝を含めて、幅 6.0m、延長は 93.5m です。その他に、申請地内東側隅に、新たに水路を南北に設置します。延長は、94.7m です。北側には、黄色で示しています「ごみ置き場」、赤色で示しています、消火栓、ホース格納庫の「消火施設」を新設します。なお、緑地公園の設置については、先ほど 4-3 頁で見いただきましたが、申請地北側の町道を挟んだ向かい側、北側に、既存の公園があるため、申請地内への公園設置は不要であることを担当課において確認済みです。</p> <p>申請地は、町道及び住宅地の既存の擁壁に囲まれているため、新たな擁壁等の設置はしません。ただし、申請地南側隣接の、東西に設置されている既存水路については、水路擁壁の高さが町道より低い位置にあります。この水路擁壁を町道の高さに合わせるため、転用事業者において水路の付替えを実施します。付替えする水路の延長は、57.7m です。なお、この付替えする水路と、南北に新設する側溝 3 本との南側設置点部分は、接続しません。設置点部分を四角で囲み、位置図、丸 1、丸 2、丸 3 と示し、右側に詳細位置図として示しています。3 ヶ所いずれも設置点部分は、張りコンクリートで埋める対応を取ります。これは、先ほど 4-3 頁で見いただきましたが、申請地東側の隣接町道を挟んで、農地、水田が存在します。この設置点部分をつなげると、西側からの用水が北側に流れてしまいます。用水を東側の水田まで送るための措置です。このことは、転用事業者と土地改良区との協議のうえ、担当課サイドにおいても確認、承認がなされています。</p> <p>汚水は、赤線で示していますが、南側隣接町道及び東側隣接町道に埋設の公共下水に接続します。敷地内の雨水経路は、青色矢印で示しています。南北に新設する道路側溝及び水路の計 3 本から、雨水は北側に流れます。北側の既存の町道側溝を東側、右側に流れ、最終的に北東側角、</p>
--	--	--

		<p>敷地右上角から町道敷地内に設置の集水桝から、町道下を横断し、舟川に放流します。</p> <p>その他参考までに、文字で記載していますが、北側隣接町道と新設道路との接続部分の水路、これは既存の町道側溝ですが、車両出入口となる延長 11.4m部分を強度補強のため、転用事業者において付替えを行います。さらに、北東側角から町道敷地内に設置の集水桝から、舟川に放流するまでの区間、町道下の暗渠水路、延長 6.4mについて、流量計算上と強度補強のため、こちらも転用事業者において付替えを行います。</p> <p>本冊の 4-6 頁をお願いします。周辺農業用水路の系統図です。水路は青色、道路は茶色、農地は緑色、白地は地目が農地以外の土地になります。また、水の流れを青色矢印で示しています。申請地の隣接東側の町道を挟んでの水田ですが、現在、南側水路から取水し、北側隣接町道側溝に排水しており、申請地転用後も形状の変更はありません。先ほども説明しましたが、申請地隣接南側の水路は、付替えが行われますが、この水田まで用水が届くよう対策が取られます。その他、転用にかかる周辺水路への影響はありません。</p> <p>冒頭申し上げましたが、この案件は、3,000 m²を超える転用のため、県の常設審議委員会に諮る案件であります。常設審議委員会では、所定の資料が求められます。この度添付している資料のうち、4-3 頁、4-6 頁は、その一つですので、ご承知ください。</p> <p>この案件が本町農業委員会として、本日、意見決定されることが大前提ですが、常設審議委員会の日程は、明日 12 月 11 日の午後が事前の現地調査会、常設審議委員会は 12 月 22 日であり、そこで審議され、異議なしという判断になれば、県に転用許可申請書を進達するものです。</p> <p>以上、申請につきましては、周辺への土砂流出の恐れは無く、日照や通風に与える影響も無いことから、周辺の営農条件に支障を及ぼすものではありません。よって、農地法第 5 条第 2 項各号には該当しないため、許可要件を満たしているものと考えられます。説明は以上です。</p> <p>説明が終わりました。引き続き現地調査委員による現地確認の報告をしていただきます。議席番号 8 番の清水武敏委員より報告をしてください。</p> <p>この転用計画について、申請地は周囲を既存の擁壁で囲まれており、周辺への土砂流出の恐れはありません。また、申請地東側の水田への用水も問題なく届くよう対策が取られます。その他周辺の農地への支障はありません。よって、この転用計画を認めることについて、問題はないことを委員全員で確認しました。以上です。</p> <p>以上で、案件の説明及び現地調査委員の報告を終わります。これより、質疑を行います。皆さ</p>
	(議長)	
	清水委員	
	(議長)	

<p>議案 33 号 非農地の現況証明について</p>	<p>河井推進委員 事務局 河井推進委員 (議長)</p> <p>(議長)</p> <p>事務局</p> <p>(議長)</p>	<p>んのほうから質疑はございますか。</p> <p>4・1 頁の 5 筆の水田について、細長い区画がありますが、区割りはどうだったのですか。 番号で言えば、1 が 1 枚、2,3,4 が実質 1 枚、5 が 1 枚という状況です。 わかりました。 その他に質疑はございませんか。</p> <p>質疑がないようですので、質疑は終結し、採決を行います。議案第 32 号「農地法第 5 条の規定による許可申請について」、原案のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。 《全員挙手》</p> <p>全員の方が挙手であります。よって、議案第 32 号「農地法第 5 条の規定による許可申請について」は、原案のとおり意見決定を致します。</p> <p>次に、議案第 33 号「非農地の現況証明について」を議題とします。なお、本議案は、4 件の申請がありますが、番号ごとに説明、現地調査委員の報告をしていただきます。質疑は一括してお受けします。それでは、番号 1 の案件について、事務局より説明してください。</p> <p>会議書 5 頁です。議案第 33 号「非農地の現況証明について」を説明します。</p> <p>次のとおり、農地法第 2 条第 1 項に規定する農地以外のものである証明願いの提出があったので、同法の適用を受けない土地であることの証明を交付することについて、本委員会の議決を求めるものです。</p> <p>(資料は 5-2 頁～5-5 頁)</p> <p>番号 1 申請人は、はわい長瀬●●。土地の所在は、大字園——。地目は、台帳 畑、現況 山林。面積は 5,825 m²です。20 年以上前から耕作や管理ができなくなり、山林化したものです。</p> <p>頁をめくっていただき、5-2 頁が航空写真の位置図です。右下に赤色で囲っている箇所です。</p> <p>次の 5-3 頁が、もう少し拡大した航空写真の位置図になります。大部分が山林化している状況です。</p> <p>次の 5-4 頁が、現地の写真です。申請地を南西側から撮影しています。手前側の一部を除き、大部分が山林化しています。</p> <p>次の 5-5 頁が、公図です。縦に見ていただきます。周辺の台帳地目も記載しています。ご確認ください。番号 1 の説明は以上です。</p> <p>説明が終わりました。続いて、現地調査委員による現地確認の報告をしていただきます。議席</p>
---------------------------------	--	---

	<p>渡邊委員</p> <p>(議長)</p> <p>事務局</p>	<p>番号 7 番の渡邊由佳委員より報告をしてください。</p> <p>申請地は、長らく手が掛けられておらず、大部分が山林化しています。農地の部分が一部ありますが、現在は耕作されていません。容易には農地に復元することは困難な状況であります。よって、非農地として認めることについて問題はないことを委員全員で確認しました。以上です。</p> <p>次に、番号 2 の案件について、事務局より説明してください。</p> <p>再度、5 頁をお願いします。</p> <p>(資料は 5-6 頁～5-11 頁)</p> <p>番号 2 申請人は、南谷●●。土地の所在は、大字南谷字——地内の記載の 3 筆。地目は、いずれも台帳 畑、現況 山林。面積は、記載のとおりです。同じく、字——地内の記載の 2 筆。地目は、ともに台帳 畑、現況 山林。面積は、記載のとおりです。</p> <p>5 筆とも 20 年以上前から耕作や管理ができなくなり、山林化したものです。なお、この案件については、位置図番号 1 から 5 で示しています。</p> <p>頁をめくっていただき、5-6 頁が航空写真の位置図です。右上付近に 1 から 5 と赤色で囲っている箇所です。次の 5-7 頁が、もう少し拡大した航空写真の位置図になります。5 筆とも山林化している状況です。</p> <p>次の 5-8 頁が、字——地内 3 筆の現地の写真です。番号 1 は、南東側から撮影、番号 2 も南東側から撮影、番号 3 は南側から撮影しています。3 筆とも竹林状態です。次の 5-9 頁が、字——地内 2 筆の航空写真の位置図です。番号 4、5 として西側から撮影しています。この 2 筆も竹林状態です。</p> <p>次の 5-10 頁と 5-11 頁が、公図です。縦に見ていただきます。周辺の台帳地目も記載しています。ご確認ください。番号 2 の説明は以上です。</p> <p>(議長)</p> <p>説明が終わりました。続いて、現地調査委員による現地確認の報告をしていただきます。議席番号 8 番の清水武敏委員より報告をしてください。</p> <p>清水委員</p> <p>申請地は、長らく手が掛けられておらず、山林化、竹林状態であります。容易には農地に復元することは困難な状況であります。よって、非農地として認めることについて問題はないことを委員全員で確認しました。以上です。</p> <p>(議長)</p> <p>次に、番号 3 と番号 4 について、関連がありますので、一括して事務局より説明してください。</p>
--	------------------------------------	--

<p>議案第 34 号 農用地利用集積等促進計画の 策定について</p>	<p>事務局</p> <p>尾川委員 (議長)</p> <p>(議長)</p>	<p>できたのでしょうか。</p> <p>本来は、転用許可を得て住宅を建築されるべきですが、当時の状況は不明です。許可を得て、地目変更していないだけかも知れませんが、わからない状況です。ただし、現状として、台帳地目は田ですが、現況地目は宅地で、以前から宅地課税がされています。現況が宅地ということで申請も受理しました。</p> <p>わかりました。</p> <p>その他に質疑はございますか。</p> <p>質疑がないようですので、質疑は終結し、案件ごとに採決を行います。議案第 33 号「非農地の現況証明について」のうち、番号 1 の案件について、原案のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>《全員挙手》</p> <p>全員の方が挙手であります。</p> <p>次に、番号 2 の案件について、原案のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>《全員挙手》</p> <p>全員の方が挙手であります。</p> <p>次に、関連があります番号 3 と番号 4 の案件について、原案のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>《全員挙手》</p> <p>全員の方が挙手であります。よって、議案第 33 号「非農地の現況証明について」は、原案のとおりに議決致します。</p> <p>次に、議案第 34 号「農用地利用集積等促進計画の策定について」を議題とします。</p> <p>なお、本議案については、農業委員会等に関する法律第 31 条第 1 項の規定による議事参与の制限がございます。皆さんにお諮りをします。議席番号 7 番の渡邊由佳委員、10 番の中村弘明委員、11 番の蔵本孝広委員、12 番の山上真治委員、14 番の河井勝重推進委員、19 番の音田孝好推進委員、計 6 名からの申請、農地番号 12 から 15、91 から 99、114 から 118、130 から 137、171 から 183、234 から 237、239 から 243、247 から 252、計 53 案件を先に分割審議することにご異議はございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
--	---	---

	事務局	<p>異議なしと認め、農地番号 12 から 15、91 から 99、114 から 118、130 から 137、171 から 183、234 から 237、239 から 243、247 から 252、計 53 の案件を先に分割審議することとします。それでは、議席番号 7 番の渡邊由佳委員、10 番の中村弘明委員、11 番の蔵本孝広委員、12 番の山上真治委員、14 番の河井勝重推進委員、19 番の音田孝好推進委員、計 6 名は退席してください。</p> <p>(7 番 渡邊由佳委員、10 番 中村弘明委員、11 番 蔵本孝広委員、12 番 山上真治委員、14 番 河井勝重推進委員、19 番 音田孝好推進委員 退席)</p> <p>6 名の委員の退席を確認しましたので、審議を続けます。議案第 34 号「農農用地利用集積等促進計画の策定について」の内、分割審議の案件について、事務局より説明してください。</p> <p>会議書 6 頁です。議案第 34 号「農用地利用集積等促進計画の策定について」を説明します。</p> <p>次のとおり、農用地利用集積等促進計画が策定されたので、農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 3 項の規定により、本委員会の意見を求めるものです。</p> <p>(資料は 6-1 頁～6-9 頁)</p> <p>6-1 頁以降、すべて利用権設定関係です。まず、案件の説明の前に、先月も説明しましたが、この表の右側のほうに、契約の状況欄があります。実質は更新であっても、この度初めて、機構を経由した三者契約をするものは、新規に丸印が付くことになります。実質が新規、実質が更新の別がわかるように、実質が新規契約のものは、契約の状況欄の新規に丸印が付き、かつ備考欄に米印を付けています。実質が更新のものは、備考欄は空欄としておりますのでご理解をお願いします。</p> <p>(分割審議案件) それでは分割審議案件、議席番号順に説明します。</p> <p>議席番号 7 番の渡邊由佳委員関連です。</p> <p>6-8 頁の農地番号 234 から 6-9 頁の農地番号 237 までの 4 筆です。大字園地内の記載の 4 筆の現況が畑で、利用目的は養鶏です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、農地番号 234 と 235 が 3 年、農地番号 236 と 237 が 5 年で、いずれも無償です。耕作者は、園の●●で、渡邊由佳委員の夫です。新規契約、実質は更新です。</p> <p>次に、議席番号 10 番の中村弘明委員関連です。</p> <p>6-1 頁です。農地番号 12 から 15 までの 4 筆です。大字光吉及び水下地内の記載の 4 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、い</p>
--	-----	--

		<p>ずれも 5 年で、無償です。耕作者は、藤津の合同会社●●で、新規契約です。</p> <p>6-5 頁です。農地番号 130 から 137 までの 8 筆です。大字水下、久留及び光吉地内の記載の 8 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、いずれも 10 年で、無償です。耕作者は、藤津の合同会社●●で、新規契約、実質は更新です。</p> <p>次に、議席番号 11 番の蔵本孝広委員関連です。</p> <p>6-4 頁です。農地番号 99、大字赤池地内の記載の 1 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、5 年で、無償です。耕作者は、宇野の蔵本孝広で、新規契約、実質は更新です。</p> <p>次に、議席番号 12 番の山上真治委員関連です。</p> <p>6-6 頁の農地番号 171 から 6-7 頁の農地番号 183 までの 13 筆です。はわい長瀬地内の記載の 13 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、農地番号 171、172、182、183 の 4 筆が 5 年、その他 9 筆は 10 年で、すべて無償です。耕作者は、田後の株式会社●●で、新規契約、実質は更新です。</p> <p>6-9 頁です。農地番号 239 から 243 までの 5 筆です。大字光吉、はわい長瀬及び長江地内の記載の 5 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、いずれも 5 年で、無償です。耕作者は、田後の株式会社●●で、新規契約、実質の新規は、農地番号 241、242、243 の 3 筆です。同じく 6-9 頁、農地番号 247 から 252 までの 6 筆です。はわい長瀬地内の記載の 6 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、いずれも 5 年で、無償です。耕作者は、田後の株式会社●●で、新規契約、実質は更新です。</p> <p>次に、議席番号 14 番の河井勝重推進委員関連です。</p> <p>6-4 頁の農地番号 91 から農地番号 98 までの 8 筆です。大字下浅津、上浅津及びはわい長瀬地内の記載の 8 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、いずれも 5 年で、無償です。耕作者は、上浅津の河井勝重で、新規契約、実質は更新です。</p> <p>分割審議案件、最後です。議席番号 19 番の音田孝好推進委員関連です。</p> <p>6-4 頁の農地番号 114 から 6-5 頁の農地番号 118 までの 5 筆です。大字長江地内の記載の 5 筆</p>
--	--	--

	(議長)	<p>の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、いずれも 5 年で、無償です。耕作者は、長江の音田孝好で、新規契約、実質は更新です。</p> <p>なお、地域計画の地区は、表の右側に記載のとおりです。分割審議案件の説明は以上です。</p> <p>説明が終わりました。これより質疑を行います。皆さんのほうから質疑はございますか。</p> <p>質疑がないようですので、質疑は終結し、これより採決を行います。議案第 34 号「農用地利用集積等促進計画の策定について」の内、分割審議案件、農地番号 12 から 15、91 から 99、114 から 118、130 から 137、171 から 183、234 から 237、239 から 243、247 から 252、計 53 の案件について、原案のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>《全員挙手》</p> <p>全員の方が挙手であります。よって、議案第 34 号「農用地利用集積等促進計画の策定について」の内、分割審議案件、農地番号 12 から 15、91 から 99、114 から 118、130 から 137、171 から 183、234 から 237、239 から 243、247 から 252、計 53 の案件については、原案のとおり意見決定致します。</p> <p>それでは、退席している 6 名の委員に復席していただきます。</p> <p>(7 番 渡邊由佳委員、10 番 中村弘明委員、11 番 蔵本孝広委員、12 番 山上真治委員、14 番 河井勝重推進委員、19 番 音田孝好推進委員 着席)</p> <p>それでは、6 名の委員の復席を確認しましたので審議を続けます。議案第 34 号「農用地利用集積等促進計画の策定について」の内、分割審議以外の案件について、事務局より説明してください。</p>
	事務局	<p>6-1 頁からになります。</p> <p>(分割審議以外の案件) (資料は 6-1 頁～6-9 頁)</p> <p>退席者がありましたので再度説明します。案件の説明の前に、先月も説明しましたが、この表の右側のほうに、契約の状況欄があります。実質は更新であっても、この度初めて、機構を経由した三者契約をするものは、新規に丸印が付くことになります。実質が新規、実質が更新の別がわかるように、実質が新規契約のものは、契約の状況欄の新規に丸印が付き、かつ備考欄に米印を付けています。実質が更新のものは、備考欄は空欄としておりますのでご理解をお願いします。</p> <p>契約更新の時期であり、件数が多いため、分割審議以外の案件の説明については、実質が新規のもの、備考欄に米印が付いているもののみとさせていただきます。</p>

		<p>6-1 頁です。農地番号 1 から 3、大字光吉地内の記載の 3 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、いずれも 5 年で、無償です。耕作者は、久留●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 4 から 6、大字赤池及び水下地内の記載の 3 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、いずれも 6 年で、無償です。耕作者は、橋津●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 7、大字下浅津地内の記載の 1 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、5 年で、無償です。耕作者は、宮内●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 8、はわい長瀬地内の記載の 1 筆の現況が畑で、利用目的はネギ栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、10 年で、無償です。耕作者は、はわい長瀬●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 9、大字長和田地内の記載の 1 筆の現況が田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、5 年で、無償です。耕作者は、長和田●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 10 と 11、はわい長瀬地内の記載の 2 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、ともに 5 年で、無償です。耕作者は、長江●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 16 と 17、大字久留地内の記載の 2 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、ともに 5 年で、無償です。耕作者は、はわい長瀬●●で、新規契約です。</p> <p>6-5 頁です。農地番号 141 から、次の 6-6 頁の農地番号 148 までの 8 筆です。大字長江、長和田及び門田地内の記載の 8 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、いずれも 10 年で、無償です。耕作者は、門田●●で、新規契約です。</p> <p>6-6 頁です。農地番号 162、大字門田地内の記載の 1 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、6 年で、無償です。耕作者は、門田●●で、新規契約です。</p>
--	--	--

		<p>6・8 頁です。農地番号 230 と 231、大字野花地内の記載の 2 筆の畑で、利用目的は果樹栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、ともに 10 年で、有償です。耕作者は、倉吉市●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 232、大字野花地内の記載の 1 筆の畑で、利用目的は果樹栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、10 年で、有償です。耕作者は、野花●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 233、大字小鹿谷地内の記載の 1 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、10 年で、無償です。耕作者は、中興寺●●で、新規契約です。</p> <p>6・9 頁です。農地番号 245 と 246、大字国信地内の記載の 2 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、ともに 5 年で、無償です。耕作者は、川上●●で、新規契約です。</p> <p>農地番号 254 から 258、大字光吉地内の記載の 5 筆の田で、利用目的は水稻栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、いずれも 5 年で、無償です。耕作者は、宮内●●で、新規契約です。</p> <p>これら以外は、更新、新規に丸印が付いていても実質は更新の契約ですので説明は省略します。なお、地域計画の地区は、表の右側に記載のとおりです。地域計画は、町内で 6 地区が設定されていますが、目標地図に示している農地は、農振農用地区域内の農地としています。よって、該当地が農振農用地区域外の農地の場合は、地域計画の地区欄は「外」と記載しています。説明は以上です。</p> <p>以上で、説明が終わりました。これより、質疑を行います。皆さんのほうから質疑はございますか。</p> <p>契約内容について、無償が大部分ですが、今後、特に水田について、地権者から有償にしてほしいという話が出てくるのではないかと思います。どうでしょうか。農業委員会としてどうしていくか、相談なども出ているのではないのでしょうか。</p> <p>若干ですが、昨年から水田については、地権者から有償にしてほしいという話は出ています。本町は他市町のように反当いくらという決め事はしていません。最終的には双方で協議ということになります。</p>
	(議長)	
	河井推進委員	
	事務局	

<p>議案第 35 号 非農地の決定について</p>	<p>河井推進委員 事務局 河井推進委員 事務局</p> <p>河井推進委員 (議長) 山下委員 事務局 山下委員 (議長)</p> <p>(議長) 事務局</p>	<p>他市町の有償単価は、農業委員会が決めているのでしょうか。 基本は、農業委員会が設定していると認識しています。 有償になると耕作者も困りますからね。 地権者から相談があった際には、従来から無償のため、なるべく無償でとお願いしています。 また、お金ではなく、お米での契約という方もあることは聞いています。ただし、お米での契約については、双方での約束で実施してもらうようお願いしています。今後、農業委員会で反当いくらという決定がなされれば、そのように対応します。 わかりました。一つの意見として出しました。 その他に質疑はございますか。 農地番号 230、その他もありますが、有償の金額については、双方で決められたのでしょうか。 金額は、一反当たり、1,000 ㎡当たりの金額を掲載しています。双方で決まられています。 わかりました。 その他に質疑はございますか。 質疑がないようですので、質疑は終結し、これより採決を行います。議案第 34 号「農用地利用集積等促進計画の策定について」の内、分割審議以外の案件について、原案のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。 《全員挙手》 全員の方が挙手であります。よって、議案第 34 号「農用地利用集積等促進計画の策定について」は、258 件、すべて原案のとおり意見決定致します。 次に、議案第 35 号「非農地の決定について」を議題とします。事務局より説明してください。 会議書 7 頁です。議案第 35 号「非農地の決定について」を説明します。 次のとおり、農地法第 30 条に規定する農地利用状況調査の結果に基づく別紙一覧表記載の土地が、農地法第 2 条第 1 項の適用を受けない土地であることの可否について、本委員会の議決を求めるものです。 (資料は 7-1 頁～7-8 頁) 7-1 頁、7-2 頁の非農地通知一覧表をご覧ください。 この度は、大字宇野字——と字——地内の記載の 38 筆について、非農地決定の判断をいただきたく提案するものです。表の左側から、土地の所在、地目、面積、所有者については、記載の</p>
--------------------------------	--	---

		<p>とおりです。所有者については、登記簿上の所有者になります。利用状況調査は、令和 6 年 10 月に実施され、その際に「再生利用が困難な農地」と判断されているものです。非農地通知書発行年月日は、議決を得た後に、所有者または納官人等に発行しますので、本日時点では空欄としています。備考欄には、非農地とした際の変更後の田畑以外の地目を記載しています。なお、記載の地目については、この後写真も見ていただきますが、固定資産税担当が判断している現況地目も参考に記載しています。</p> <p>具体的に、位置図と現況写真により説明します。</p> <p>7-3 頁、番号 1 から 38 まで、すべての位置図です。次の 7-4 頁に、もう少し拡大した位置図を添付しておりますのでご確認ください。</p> <p>次の 7-5 頁からが現況写真になります。7-5 頁です。左上の番号 1 は、畑から原野に地目変更。右上の番号 2 は、畑から山林に地目変更。左下の番号 3 から 6 は、畑から原野、または公衆用道路に地目変更。右下の番号 7 は、畑から原野に地目変更するものです。</p> <p>7-6 頁です。左上の番号 8 から 10 は、畑から原野に地目変更。右上の番号 11 から 14 は、畑から原野に地目変更するものです。</p> <p>7-7 頁です。上の番号 15,22,23,24,26,27 は、畑から原野に地目変更。下の番号 16 から 21 と 25 は、畑から山林に地目変更するものです。</p> <p>7-8 頁です。左の番号 28 から 30、32 から 38 は、畑から山林、または原野に地目変更。右の番号 31 は、畑から原野に地目変更するものです。</p> <p>以上、38 筆の提案について、本委員会で議決を得た後、所有者に通知発行、3 ヶ月の不服申し出期間を経た後、不服申し出者を除き、町長の職権で登記簿地目の変更登記を行うこととなります。説明は以上です。</p> <p>説明が終わりました。これより質疑を行います。皆さんのほうから質疑はございますか。</p> <p>それでは、質疑は無と認めます。これより採決を行います。</p> <p>議案第 35 号「非農地の決定について」、原案のとおり、これを可と認めることに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《全員挙手》</p> <p>全員の方が挙手であります。よって、議案第 35 号「非農地の決定について」は、原案のとおり議決致します。</p>
	(議長)	

5 その他	(議長)	<p>その他記載の作業、その金額については、提案どおりとします。以上、最終確認です。</p> <p>それでは、これより採決を行います。</p> <p>議案第 36 号「令和 8 年農業労働賃金等標準額の決定について」、事務局が最終確認しましたとおり、「草刈り」については、金額は提案どおりとし、記載の「肩掛・背負刈払機、自走畔草刈機」は削除、「草刈り」の備考欄については、「モア等使用の場合は別途協議」の記載のみに修正します。その他記載の作業及び金額については、原案のとおりとします。以上、これを可と認めることに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《全員挙手》</p> <p>全員の方が挙手であります。よって、議案第 36 号「令和 8 年農業労働賃金等標準額の決定について」は、最終確認したとおりに議決致します。以上で議事を終わります。</p>
	(議長)	<p>それでは、日程 5.その他に移ります。</p>
	事務局	<p>(1) 1 2 月農家相談会の日程について、説明してください。</p> <p>○ 1 2 月農家相談会の日程について</p> <p>12 月 18 日（木）午前 9 時～正午</p> <p>担当：⑨ 横川 力 委員、⑩ 中村弘明 委員、⑯ 山本正義 推進委員</p>
	(議長) 事務局	<p>(2) 1 月定例総会の日程について、説明してください。</p> <p>○ 1 月定例総会の日程について</p> <p>1 月 9 日（金）午後 3 時～</p> <p>現地調査委員：長谷川 会長、土海 会長職務代理</p> <p>⑨ 横川 力 委員、⑩ 中村弘明 委員、⑰ 伊藤文夫 推進委員</p>
	(議長) 事務局	<p>(3) 鳥取県農業委員会女性協議会第 2 回研修会の日程について、説明してください。</p> <p>○ 鳥取県農業委員会女性協議会第 2 回研修会の日程について〔事前通知済〕</p> <p>1 月 14 日（水）午前 10 時～午後 2 時 30 分（予定）</p> <p>会場 エースバック未来中心・セミナールーム 3</p> <p>※今回は、女性委員のみならず、男性委員や女性農業者も対象</p> <p>※本日、出席者の確認 ⇒都合により、委員等の出席なし</p>
	(議長) 事務局	<p>(4) 1 月農家相談会の日程について、説明してください。</p> <p>○ 1 月農家相談会の日程について</p>

6 閉会	<p>(議長) 事務局</p> <p>(議長) 事務局</p> <p>(議長) 事務局</p> <p>(議長)</p> <p>(議長)</p>	<p>1月15日(木) 午前9時～正午</p> <p>担当：⑪ 蔵本孝広 委員、⑫ 山上真治 委員、⑬ 岡本 章 推進委員</p> <p>(5)令和7年農地賃借料情報について、説明してください。</p> <p>○令和7年農地賃借料情報について、資料により説明</p> <p>有償の賃借料の平均額、最高額、最低額について、今後記載について検討要とします。</p> <p>(6)その他について、説明してください。</p> <p>①令和8年度定例総会等の日程について</p> <p>定例総会、初総会、農家相談会、農地パトロール一斉調査日など</p> <p>※会場及び車両の早期確保のため、別紙日程(案)について提案します。</p> <p>⇒本日は時間がないため、次回定例総会時に再度提案することに決定</p> <p>②活動記録簿について、12月末時点の状況を県に報告する必要がありますので、1月定例総会時に提出してください。</p> <p>その他について、事務局からは以上です。</p> <p>その他に皆さんから何かお伝えされたいことはございますか。</p> <p>無いようですので以上で終わります。</p> <p>皆さん、ご起立をお願いします。以上を持ちまして、令和7年度第9回湯梨浜町農業委員会定例総会を閉会と致します。お疲れ様でございました。</p> <p>(閉会 午後5時16分)</p>
------	---	---